

放課後等デイサービス

子ころぼ LAB

【子LABの支援の特徴】

個性に合った支援内容を大切に

- ① 専門医療職（理学療法士・看護師）が支援の中心に。
- ② ベテラン講師が学習の支援を行ないます。
- ③ 中心スタッフ全員がLD学会に所属し、現在、特別支援教育士のカリキュラムに参加しています。
- ④ 楽しく生活が送れるよう趣味・余暇の充実を図ります。
- ⑤ ステムエンジニアと理学療法士等が個性に合わせた就業の支援や就業環境の設定もお手伝いします。

理学療法

感覚統合

学習支援

SST
ソーシャルスキル
トレーニング

理学療法 / 感覚統合療法

様々な不器用・身体の不自由さからくる困り感の改善に

感覚のアンバランス（過敏・低反応）などからくる困り感の改善に

学習支援 / SST

就学 / 学校 / 就業 / 社会順応
を目的とした支援

趣味・余暇の支援

個性に合わせた、生活を楽しく充実させるための趣味・余暇が目標



NPO 法人 HA-HA-HA

〒514-0042 津市新町1丁目1-16 1F

☎ 059-229-1515 ✉ kolab@npo-hahaha.jp

🏠 <http://www.npo-hahaha.jp>



理学療法について

運動機能の専門家です。整形外科的な疾患の方から脳や神経の疾患を抱えた方まで幅広く対応しリハビリを行う職業です。子LABの理学療法士は小児理学療法学会に所属しています。

また感覚統合学会にも所属し、感覚統合のエッセンスも加えながら、利用者が主体的に、楽しく、継続できる支援を目指しています。

不器用だから、四肢が不自由だからと諦めていませんか。体を動かすこと、補助手段を使っても移動スキルを獲得することは認知機能の向上にも繋がることが近年わかってきています。

感覚統合療法について

発達障害をもつ子どもが持つ感覚のアンバランス、不器用さがなぜ起こるのか、アメリカで考案された療法。現在は世界中で作業療法士を中心に広められている。

学術的エビデンスレベルCと高くないですが、子どもが主体的に参加できること、個性に合わせた対応が可能であること、身体感覚にアプローチできる療法であることから子LABでは療育に取り入れています。

子LABでは日本感覚統合学会に所属し、認定感覚統合療法A修了の理学療法士が在籍しています。

学習支援/SSTについて

子LABでは学習支援にも力を入れています。支援の中心は学習塾で高校生まで支援してきたベテラン講師です。対象には発達障害をもった子なども含まれ幅広く活動した実績があります。

現在、スタッフの多くがLD学会に所属、特別支援教育士取得のカリキュラムに参加しています。またスタッフ教育として大阪医科大学LDセンター講習会を中心に継続した研鑽をしています。

SSTについても、スキルだけでは技能や社会では生きてこないとの考えから、療育に取り入れています。

就業スキルの習得も将来を見据えながら本人の希望に沿って考えていきます。

趣味・余暇について

現在、趣味・余暇を持たない障がい児者が多いことが問題となっています。趣味・余暇というと難しく聞こえるかもしれませんが、リラックスできる、打ち込めるものがあるだけで生活は充実し、楽しく過ごすことができるという意味で捉えています。

趣味・余暇を持つにはどうすればよいかを一緒に考え、個性に合わせた支援を楽しく行っていければと思っています。



子
L
A
B
併
設

まならほ
学LAB

ボディらほ
体LAB

少人数制個別対応型学習支援教室。 スポーツ・趣味・余暇の充実に!!

17:00～(月～金曜)

【夜間開催】 時間応相談

15:00～(土曜)

